

完全大血管転位

完全大血管転位とは？

大動脈が右室，肺動脈が左室から起始する病気です。体静脈血が右室から大動脈へ，肺静脈血が左室から肺動脈へ駆出されるためチアノーゼを呈します。生存には卵円孔開存での左房右房短絡が必須です。動脈管開存があれば肺血流量は増加し，チアノーゼが軽減し左室圧低下が抑制されます。

どのような症状が起きますか

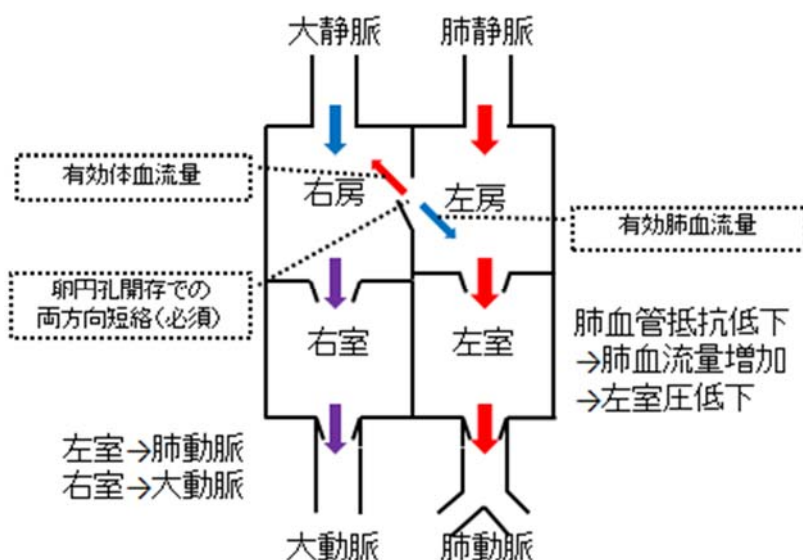
生後まもなくチアノーゼを呈します。肺うっ血，心不全による多呼吸や哺乳不良がみられることがあります。

どのように診断しますか

胸部レントゲン写真では両大血管が前後関係，胸腺縮小のため心基部が細く，両房両室拡大のため斜め卵型の心陰影，肺血管陰影の増強を認めます。心電図では右軸偏位，右室肥大を認めます。心エコー検査で確定診断します。心臓カテーテル検査が必要になることもあります。

どのように治療しますか

動脈管開存維持のためプロスタグランジン投与を行います。卵円孔開存が不十分であれば経皮的心房中隔裂開術（BAS）を行います。新生児期に大動脈と肺動脈を入れ換え，冠動脈を移植するジャテーン（Jatene）手術を行います。



大木 寛生：完全大血管転位，
三浦 大 編：はじめて学ぶ小児循環器，
P 67， 診断と治療社，2015. より転載.